

公用施設の課題等一覧

施設名	現状					課題			見直しの方向性(案)	
1 黒部市役所 黒部庁舎	建設年	庁舎維持管理費(当初予算)			人員配置状況			<p>>分庁舎方式のため、市民生活と一番密接に関連する窓口を各庁舎に配置するとともに、オンライン化によりサービス向上に努めているが、来訪者に対してワンストップサービスの低下を招いている。</p> <p>>事務上でも決裁行為・打ち合わせ等による職員の庁舎間移動に伴う時間的、経済的なロスが生じている。</p> <p>>待ち合いスペースやプライバシーに配慮した相談室等が不足している。</p> <p>>駐車場は、日常的に満車に近い状態である。</p>	黒部市役所黒部庁舎・宇奈月庁舎について、早急に(仮称)黒部市役所総合庁舎検討委員会を設置し、基本的な事項について検討する。	
		年度	金額		正職員	嘱託	臨時			
	S27 S38	H15	13,250		151	2	0			
		H16	11,495							
	H17	26,642								
<p>・耐震基準を満たしていないと思われる。(昭和56年以前の建築)</p> <p>・分庁舎として、5部局、16課、2班を設置し、正職員151人、嘱託員2人で業務に対応している。</p> <p>・狭隘により市民サービスの低下を招いている。</p> <p>・施設建設から54年が経過し老朽化が進んでいる。</p> <p>・高度情報化への限界がある。</p> <p>・高齢者や障害者に配慮したバリアフリーに対応できていない。</p>										
2 黒部市役所 宇奈月庁舎	建設年	庁舎維持管理費(当初予算)			人員配置状況			<p>>IT機器の設置やシステムの配備に伴う事務スペース、電気容量の不足などネットワーク環境の拡張に限界がある。</p> <p>>雨漏りや外壁の剥落などについては、随時修繕を行っているが、構造的に維持管理が難しい箇所もある。</p> <p>>部分的なバリアフリーへの対応は行っているが、施設、設備(トイレ、エレベーター)などは根本的な解決が困難な状況にある。</p>		
		年度	金額		正職員	嘱託	臨時			
	S47 S60	H15	19,231		74	0	0			
		H16	18,270							
	H17	17,009								
<p>・耐震基準を満たしていないと思われる。(昭和56年以前の建築)</p> <p>・分庁舎として、3部局、7課、4班を設置し、正職員74人で業務に対応している。</p> <p>・施設建設から54年が経過し老朽化が進んでいる。</p>										
3 教育センター (旧宇奈月)	建設年				人員配置状況			特になし(直接、市民が受益する施設ではない。)	-	
	S63				正職員	嘱託	臨時			
<p>・耐震基準を満たすと思われる。(昭和56年以降の建築)</p> <p>原費負担職員(教諭)を任命</p>										
4 給食センター	建設年	管理費(当初予算)			人員配置状況			<p>>床や壁に亀裂が目立ち、台車の移動が困難なため調理作業に支障をきたしている。</p> <p>>天井の結露や滴下、サッシの歪み、シャッターの開閉が困難なため害虫の侵入など衛生面での不安を有している。</p> <p>>冷暖房がなく、室温管理が不能なため、献立に支障をきたしている。</p> <p>>調理場の広さが十分でないため、大型調理器等が設置できず、また、食材の一時保管場所もないので料理のレパートリーが広がらない。</p> <p>>「自校直営」「自校民間委託」「センター直営」「センター民間委託」「センター方式と自校方式の共存」など多様な選択肢がある。</p> <p>>最小の経費で最大の効果を求める行革の立場からは、改善のスピードを上げるためにも、センター業務全体の民間委託を真剣に検討する必要がある。</p>	黒部市給食センターについて、早急に(仮称)黒部市学校給食検討委員会を設置し、学校給食のあり方及び給食センターの建替えとその運営方法について検討する。	
		年度	金額	うち人件費	うち維持管理費	正職員	嘱託			臨時
	S46	H15	122,716	91,266	11,520	15	0			2
		H16	118,272	90,124	10,980					
	H17	117,191	88,150	11,017						
<p>・耐震基準を満たしていないと思われる。(昭和56年以前の建築)</p> <p>・施設建設から35年が経過し老朽化が進んでいる。</p> <p>・狭隘により市民サービスの低下を招いている。</p>										
5 黒部消防署	建設年	常備消防費(当初予算)			人員配置状況			<p>>日常の行政機能の拡充を図るとともに、大規模災害発生時に、災害対策の指揮及び情報伝達を行う中枢施設としての機能を維持できる安全性・信頼性のある施設が求められる。</p> <p>>高度情報化社会の進展により、消防業務においてもますます情報が多種多様化する中で、消防業務のIT化を推進するとともに、将来のIT基盤整備にも対応できる施設が求められる。</p>		
		年度	金額	うち人件費	正職員	嘱託	臨時			
	S47	H15	297,323	279,751	39	0	0			
		H16	284,792	267,877						
	H17	275,826	256,845							
<p>・耐震基準を満たしていないと思われる。(昭和56年以前の建築)</p> <p>・施設建設から34年が経過し老朽化が進んでいる。</p> <p>・高度情報化への限界がある。</p>										
6 宇奈月消防署	建設年	常備消防費(当初予算)			人員配置状況			<p>>一般駐車スペースを確保し、来庁者の利便性の向上を図らなくてはならない。</p> <p>>通信司令室は、消防における災害対応の中枢となるものであり、大規模な地震に耐えうる構造の高機能消防通信指令システムの整備が求められる。</p> <p>>複雑多様化する災害現場に対処する技能を修得するための実践的な訓練施設整備が求められる。</p>	黒部消防署・宇奈月消防署について、早急に(仮称)黒部市消防庁舎検討委員会を設置し、庁舎の再編について検討する。	
		年度	金額	うち人件費	正職員	嘱託	臨時			
	S49	H15	196,777	186,328	21	0	0			
		H16	198,567	187,460						
	H17	184,686	176,984							
<p>・耐震基準を満たしていないと思われる。(昭和56年以前の建築)</p> <p>・狭隘により市民サービスの低下を招いている。</p> <p>・施設建設から32年が経過し老朽化が進んでいる。</p> <p>・高度情報化への限界がある。</p>										